

令和3年度第1回 おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略会議 会議要旨

日 時 令和3年8月27日（金） 14:00～15:15

場 所 おいらせ町役場本庁舎2階 201会議室

出席者	役職	職 名	氏 名	出欠
出席者	委員	三沢公共職業安定所 所長	山谷 良子	○
		上北地域県民局地域連携部地域支援チーム リーダー	杉山 智明	○
		おいらせ町商工会	藪 豊子	-
		おいらせ町地域活動連絡協議会 会長	福田 由佳子	○
		下田タウン株式会社 代表取締役社長	木村 賢一	○
		青森銀行百石支店 支店長	常田 淳	-
		青森県立百石高等学校 校長	中村 豊	○
		八戸工業高等専門学校 総合科学教育科 教授	河村 信治	○
		公募 (CONSE 代表)	赤石 英二	○
		公募	小川 雅幸	○

事務局：政策推進課 柏崎勝徳課長、袴田笑美子補佐、袴田健裕
出席人数：11名

- 次第
1. 開会
 2. 委嘱状交付
 3. 町長あいさつ
 4. 案件
 - (1) 会長・副会長選任について
 - (2) まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組について
 - (3) 総合戦略関連事業検証部会の開催について
 - (4) 検証部員の選任について
 - (5) 地方創生に関する意見交換について
 5. その他
 6. 閉会

資料	<ul style="list-style-type: none"> ・おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略 ・おいらせ町人口ビジョン ・別紙1 新規事業の検討について ・別紙2 過去の検証事業について ・別紙3 評価・検証方法等について
内 容	
1. 開会	
※事務局の進行で開会される。(14:00)	
2. 委嘱状交付	
※新型コロナウイルス感染症対策により、個別の交付に代え、各席へ配布。	
委員紹介	
※初顔合わせのため事務局より紹介を行う。(資料1ページの委員名簿の順で紹介)	
3. 町長あいさつ	
<p>委員を引き受けてくださり感謝申し上げます。</p> <p>人口減少社会において首都圏への一極集中が進み、どの地方も大変苦勞していると思う。首都圏への移動をどのように食い止めるか、またどのように故郷に帰ってきてもらうか考える必要がある。当町は幸い人口を維持しているが、いずれ人口が減少していく局面が訪れる。その局面において、元気な地域であることができるように皆様から意見をいただき一緒に考えていただきたくご協力をお願いする。</p>	
3. 案件	
※会長が決定するまで町長により進行がなされる。	
(1) 会長及び副会長の選任について	
町長	<p>会長及び副会長は、条例により互選により選任する。</p> <p>会長が決まれば、会長のもとに会議を進行するが、選任の方法などご意見をお伺いする。</p> <p>なければ、私から指名させていただいてもよろしいか。</p>
委員	異議なし
事務局	異議がないため、会長を河村信治委員に、副会長を木村賢一委員をお願いしたい。皆様よろしいか。
委員	異議なし
事務局	それでは、会長が決まったため、議事進行をお願いしたい。また、町長はこの後公務があるため退席させていただく。

会長	<p>おいらせ町には、2015年から昨年までアドバイザーとして関わってきました。専門はまちづくりであり、これまで八戸の中心市街地活性化や、震災後は岩手県の野田村に関わってきました。</p> <p>会議時間は限られた時間だが、ご協力をお願いしたい。</p>
(2) まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組について	
会長	第1期おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組みについて事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>資料及び別紙1に基づき説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まち・ひと・しごと創生総合戦略のこれまでの経緯 ・町の推進体制について ・新規事業の検討について
会長	<p>国の動きを踏まえて経緯などを説明いただいた。</p> <p>皆様から質問や意見を受け付ける。</p> <p>特に無ければ、最後に機会を設けるので、その際にご発言願う。</p>
(3) 総合戦略関連事業検証部会の開催について	
会長	総合戦略関連事業検証部会の開催について説明をお願いします。
事務局	<p>資料及び別紙2・3に基づき説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検証部会の開催について ・検証事業の検証方法等について
会長	<p>皆様から質問や意見を受け付ける。</p> <p>特に無ければ、最後に機会を設けるので、その際にご発言願う。</p>
(4) 検証部員の選任について	
会長	<p>先程事務局から説明があったが、検証部員に選任された方に検証作業をお願いしますこととなる。</p> <p>委員の中から5名を選出することとなるが、お引き受けくださる方はいるか。なければ事務局より提案させることとするがよろしいか。</p>
委員	異議なし
事務局	部会長に河村信治会長、副部会長に木村賢一副会長、部員に福田由佳子委員、赤石英二委員、小川雅幸委員の5名を提案させていただく。
会長	事務局より提案があった。皆様よろしいか。
委員	異議なし

会長	それでは、事務局より提案のあった5名の方々に決定する。
(5) 地方創生に関する意見交換について	
会長	第1回目の会議ということで皆様の自己紹介等を含めご発言いただきたい。
委員	先日、令和2年の国勢調査の速報値が公表されたが、県内で人口が増加したのは、六戸町とおいらせ町のみ。人口減少対策への取り組みや、地理的に有利だったことが要因として考えられる。人口減少はどこの自治体でも悩んでいることであり、地域によって状況も異なる。青森県は大学が少ないが、高校生の進学率は伸びている現状にあるため、どうしても県外へ出ていってしまう。このことに歯止めをかけることは難しいため、自治体は、再度地元に戻ってきてもらう施策を打ち出すことが重要だと思う。
委員	4月からこの地区に配属となった。どのように地域を維持していくかは様々なアプローチがあると思う。その一つとして住民自身が将来どんな地域にしたいか話し合うことや、若い人が活躍しやすい場をどのように作っていくか、また若い人が地域に関わっていくためのハードルをどのように下げていくかなどそういった課題の解決に向けて取り組みを進めている。
委員	私は、15年ほど前おいらせ町へ移住してきた。その時交通の便が良く、住みやすいといった理由からおいらせ町を選んだ。移住者はこれらの視点を重視して居住地を検討していくと思う。この会議では、移住者としての意見を出していきたい。
委員	2年前この地区に赴任し、この会議にも関わってきた。私自身地元住民ではないが、外部の人間だからこそ、地元のために意見を出せる、活かせる機会だと感じている。先日、町が実施した町民意識調査の結果を拝見した。その中で自由意見欄があり、非常に参考になる意見があった。様々な年代から出されていたが町民全体の意見が表れているものだったと思う。この意見を参考に取り組みを進めていく必要がある。 地方創生は全国の自治体で取り組んでいることのようにだがあまり効果を感じられない。おいらせ町は人口減少してない現状であるが、なぜ減少していないのかしっかりと分析して行く事が重要だと感じる。
委員	この地に赴任して3年目になる。おいらせ町からは、百石高校に対して様々な支援をいただき、愛着を持っていただいていると感じている。生徒たちには、行事等にも参加し、その中で町の良さを感じてもらえればと思っている。また、卒業してからどれだけ町に思いを寄せてくれるかという点が重要に思う。本校の学科の特性上、卒業生は県外へ就職してしまう生徒も多いが、地元就職希望者に対して、地元での仕事をあま

	<p>り紹介出来ていないのが現状である。</p> <p>現在、地域を知ろうというテーマで課題に対し、自分たちなりの提言をしようということで授業を行っている。役場の方に説明いただくなど地域について学んでいる。</p>
委員	<p>元々十和田市の出身で、ハーブの生産は12月で6年目を迎える。メインでハーブの生産を行い、製造、販売まで6次産業としてやっている。加えてインターネットラジオを活用してハーブの普及活動も行っている。番組は2つあり、1つは先程申し上げたハーブの紹介、もう1つは青森県の人を紹介するという内容の番組。最近、フードアクティビストという食を通して地球環境を考えるSDGs事業に参加している。その中で個人的には、自分にできることは何だろうかを考え、食育にたどり着いた。アメリカでは、学校で食物を育て、ともに調理し、ともに食べることで人間としての成長を促すエディブルスクールヤードという活動がある。活動を通し、環境について考え、地域に触れることが可能となる。その活動をハーブでやってみようと考えている。実際に百石高校ではやっている。地域性、物を大切にすることを育むことができたらと考えている。</p>
委員	<p>11年ほど前に三沢市から引っ越してきた。移住した大きな理由として土地が安価であったことや通勤、日常生活の移動（買い物、医療、行政手続きなど）に不便が無いことなどがあげられる。</p> <p>おいらせ町には、大型店もあるため魅力的だが個人店で頑張っているところも多く、決して首都圏に負けていないと思う。こういったところを後押しできるのが商工会や役場だと感じている。</p> <p>職場の結婚式事業を見ると、人口減少、婚姻率の低下などにより新型コロナ流行以前から厳しい状態にある。婚姻が鍵になると思う。三沢市商工会の青年部にも所属しているため知識、経験を活かしながらこの会議に参加していきたいと考えている。</p>
会長	<p>一通りご発言いただいた。人口減少に合計特殊出生率について人口置換水準に届いていないことから人口が減っていく力は、とても強いことがわかる。それでいて地方から首都圏に人口が吸い取られている現状をみると人口減少問題は簡単なテーマではないことが分かる。まず、地域の中の良いところを探してそれを守っていくところを基盤にしていき、ミクロ的な魅力探しから始めることでより建設的になると思う。</p>

<p>委員</p>	<p>生徒たちの研究活動をする際、テーマをどのように設定するかで以前、NPO 法人の方とお話しする機会があったためご紹介させていただく。「問題」と「課題」がある中で、テーマ設定をするのであれば「課題」である。「問題」は、このままではいけない、なんとかしなければいけないといった必ず改善を要するもの。生徒たちの研究は、今あるものを改善するにはどうするかを課題としてテーマ設定をした方が前向きであると話していた。そこで昨今の人口減少は、課題か問題かどちらであるか投げかけられたが、講師の方はどちらでもないと話していた。世の中が拡大していく時代は終わり、これからは縮小、落ち着いた生活になっていく中でその時にどうすればいいか考えていくのであり、人口が減ること自体問題ではないとのことだった。おいらせ町は、幸い人口減少には至っていないとされているが、減少していくことを前提にどういったまちづくりをしていくかという視点が重要で生徒たちも同様の視点で研究を進めている。</p>
<p>会長</p>	<p>皆様からご発言いただき感謝申し上げます。第1回目の会議であったが、次回からも皆様からのご協力をお願いする。</p>
<p>5. 閉会 ※挨拶をして 閉会する。 (15:15)</p>	